

雑 報

地震・火山および津波に関する 気象庁職員著作目録 (1971年)

List of Contributions from J. M. A. on Earthquakes, Volcanos and Tsunamis (1971)

- 阿部勝宏・岸尾政弘・山川宜男：日本付近の地震の震源決定の精度について(Ⅱ)—1963年エトロフ沖地震とその余震の場合一，地震，Ⅱ，24，335-343.
- 福岡管区气象台：1970年7月26日「宮崎県沖の地震」の調査報告，験震時報，36，77-84.
- 浜松音蔵：磁気テープ記録式電磁地震計の探知能力（未完），東北技術だより，第52号，20-24.
- 浜松音蔵：湯田における秋田県南東部地震の余震観測結果（自動地震計数器観測と震度観測による検討），東北技術だより，第52号，25-28.
- 広野卓蔵・佐藤馨：第5章 気象官署における MSK 震度の観測，気象庁技術報告，第76号，15-34.
- 広野卓蔵：第2部 第8章 日本における観測体制，地震と対策，インダストリーランドセンター，108-118.
- Hirono, T. and K. Sato: MSK Intensity Scale as Compared with JMA Intensity Scale, *Pep. Met. Geophys.*, 22, 177-193.
- 帆前正敏・勝又護：気象庁地震観測網の地震知能力検および日本付近の地震活動，測候時報，38，356-361.
- 市川政治・望月英志：近地地震用走時表について，気象研究所研究報告，22，229-290.
- Ichikawa, M.: Reanalyses of Mechanism of Earthquakes which Occurred in and near Japan, and Statistical Studies on the Nodal Plane Solutions Obtained, 1926-1968, *Geophys. Mag.*, 35, 207-273.
- Ichikawa, M. and Y. Kawamura: Mechanisms, General Report on the Tokachi-oki Earthquake of 1968, *Keigaku Pub.*, 33-38.
- Ichikawa, M.: Spatial and Temporal Distributions of Aftershocks, General Report on the Tokachi-oki Earthquake of 1968, *Keigaku Pub.*, 67-75.
- 勝又護・徳永規一：震度Ⅳの範囲と地震の規模および震度と加速度の対応，験震時報，36，89-96.
- 勝又護・徳永規一：第7章 地震の規模と震度Ⅳ以上の範囲および震度と加速度，気象庁技術報告，第76号，39-41.
- 勝又護：海嶺の地震，海洋科学，シンポジウム22，海洋の地震，28-33.
- 木下正時：桜島火山活動考察（その5）桜島火山活動と太陽黒点数，技術通信，17，107-109.
- 木下正時：桜島火山活動考察（その6）大正3年(1914)大爆發前の鹿児島地方の地震状況について，技術通信，17，153-161.
- 岸尾政弘・山川宜男：日本付近の地震の震源決定の精度について(Ⅲ)—1964年新潟地震とその余震の場合一，地震，Ⅱ，24，344-353.
- 気象庁地震課：雲仙火山付近の地震活動，験震時報，36，119-135.
- 気象庁地震課：火山機動観測調査報告（1963～1969年），気象庁技術報告，第75号，pp 178.
- 気象庁地震課：日本における震度観測の記録，気象庁技術報告，第76号，pp 222.
- 気象庁地震活動検出センター：1970年10月16日の秋田県南東部の地震について，地震予知連絡会会報，5，9-13.
- 気象庁地震活動検出センター・高田測候所：新潟県南西部の地震について，地震予知連絡会会報，6，7-12.
- 気象測器工場（小野崎誠一）：測器の紹介——倍強震計用電動式起動機，測候時報，38，82-84.
- 気象測器工場（矢野紀一）：測器の紹介——倍強震計用電動式起動機，測候時報，38，85.
- 気象測器工場（小野崎誠一・川上保）：倍強震計の振動試験，測候時報，38，103-105.
- 小池捷春・久保木忠夫：柿岡における地震の震度・発生回数などの特性について，技術報告（地磁気），11，No. 4，1-34.

- 栗原隆治：磁気テープ地震計の速報受信記録の利用について、東北技術だより、第52号、15-19.
- 木沢綏：V 秋田駒ヶ岳1970—71年の噴火現象、6、環状噴煙、火山、II、16 (秋田駒ヶ岳1970—71年噴火特集号)、171-173.
- 松本久：近地用の P 、 S および $P \sim S$ のノモグラムの作図法と、それを利用した走時表について、験震時報、36、109-119.
- 三宅贊：津波と大漁、測候時報、38、377.
- Nagamune, T.: Seismic Waves Associated with the Anomalous Zone in the Upper Mantle, *Geophys. Mag.*, 35, 123-135.
- Nagamune, T.: Source Regions of Great Earthquakes, *Geophys. Mag.*, 35, 333-399.
- Nagamune, T.: Investigation of Later Phases of the Tokachi-oki Earthquake of May 16, 1968, General Report on the Tokachi-oki Earthquake of 1968, Keigaku Pub., 241-253.
- 小川善郎：えびの地震で機動的に設置された自動地震計数器の記録による震源移行？についての考察、技術通信、17、135-137.
- 札幌管区気象台：十勝岳火山活動報告、気象庁技術報告、第74号、pp 156.
- Sacks, I. S., S. Suyehiro, D. W. Evertson and Y. Yamaguchi: Sacks-Evertson Strainmeter, Installation in Japan and Some Preliminary Results Concerning Strain Steps, *Pep. Met. Geophys.*, 22, 195-208.
- Seismological Section, JMA: Seismological Results Obtained from the Network of the Japan Meteorological Agency, General Report on the Tokachi-oki Earthquake of 1968, Keigaku Pub., 15-31.
- 関谷溥：関東南部の地震活動について、験震時報、36、13-27.
- 関谷溥：1933年の三陸沖地震前後の地震活動について、地震予知連絡会会報、6、12-14.
- 関谷溥・涌井仙一郎：第2章 日本における震度階の変遷、気象庁技術報告、第76号、3-4.
- 関谷溥・涌井仙一郎：第4章 震度観測資料の二三の解析例、気象庁技術報告、第76号、10-14.
- 関谷溥・涌井仙一郎：1971年1月の地震活動について、地震予知連絡会会報、5、59-63.
- 関谷溥・涌井仙一郎：関東南部の地震について、地震予知連絡会会報、6、37-43.
- 仙台管区気象台・秋田地方気象台・盛岡地方気象台：1970年10月16日の秋田県南部の地震調査報告、験震時報、36、44-75.
- 須賀盛典：有珠山周辺に発生する地震について、験震時報、36、143-153.
- 島田守家：火山噴火と気圧変化および気候変動、研究時報、23、1-8.
- 諏訪彰：急がれる大地震対策—最近の地震問題を展望する、測候時報、38、235-250.
- 諏訪彰：サンフェルナンド地震について—その実態と観測研究状況—、地学雑誌、80、179-182.
- 諏訪彰：サンフェルナンド地震について、地震予知連絡会会報、6、73-77.
- 諏訪彰：第2部、第5章 日本の火山活動とその観測、地震と対策、インダストリーランドセンター、78-88.
- Suwa, A.: The Tokachi-oki Earthquake of 1968 and the Seismic History of the Region, General Report on the Tokachi-oki Earthquake of 1968, Keigaku Pub., 9-13.
- 諏訪彰：III 秋田駒ヶ岳の噴火活動史、火山、II、16、(秋田駒ヶ岳1970—71年噴火特集号)、103-106.
- 諏訪彰・長宗留男・渡部貢：IV 秋田駒ヶ岳1970—71年の噴火活動の経過、2 1970—71年の噴火経過、火山、II、16 (秋田駒ヶ岳1970—71年噴火特集号)、112-121.
- 田畑七郎：島原地震について、技術通信、17、277-281.
- 高木聖：雲仙火山付近の地震の初動分布の解析、験震時報、36、137-142.
- 田中康裕：V 秋田駒ヶ岳1970—71年の噴火現象、4、爆発地震のメカニズム、火山、II、16 (秋田駒ヶ岳1970—71年噴火特集号)、153-161.
- 田中康裕：Magma reservoir を通る地震について、験震時報、36、29-43.
- 田沢堅太郎・高橋昌輝・神保功：三原山の基準点測量、験震時報、36、85-88.
- 徳永規一・勝又護：最近の顕著な地震の表(1961—1970)、験震時報、36、97-107.
- 宇佐美竜夫・久本壮一：京都が震度V以上の地震に襲われる確率、地震研究所い報、49、115-125.
- 渡部貢：ラム；大気中の火山塵、測候時報、38、335-352.
- 渡辺偉夫：第2部 第4章 地震と津波、地震と対策、インダストリーランドセンター、69-77.
- Watanabe, H.: Tsunami Source, Aftershocks and Earthquake Mechanism on the Tokachi-oki Earth-

- quake of 1968, General Report on the Tokachi-oki Earthquake of 1968, Keigaku Pub., 137-151.
- 山岸登：松代で観測された S-coupled PL 波の解析，地震，II，24，279-286.
- 山岸登：松代で観測された PL₂₁ 波の解析，験震時報，36，1-11.
- 山岸登：第6章 最大有感距離と地震の規模との関係，気象庁技術報告，第76号，35-38.
- Yamakawa, N.: Stress Fields in Focal Regions, J. Phys. Earth, 19, 347-355.
- Yamakawa N.: Time and Space Distributions of Aftershocks of the Tokachi-oki Earthquake of 1968, General Report on the Tokachi-oki Earthquake of 1968, Keigaku Pub., 77-83.
- 安井豊：地震に伴う発光現象に関する調査研究（第2部），地磁気観測所要報，14，67-78.